



# 大阪樟蔭女子大学 (大阪府)



創立100周年の伝統・多角的な生活文化の学び舎の名門女子大学

## ■大学紹介

### ① 大学の特色および概要

大阪樟蔭女子大学は、2017年に創立100周年を迎える我が国有数の女子高等教育機関です。1917年（大正6年）大正デモクラシーが花開くその時代、樟蔭学園は「現代女性のための理想的な学園の創造」を理念に誕生しました。樟蔭女学校では深緑色の袴が制服でした。袴は、明治期から女性の制服として採用され、大正期には競ってそれを身につけました。本学では今も「深緑色の袴」がシンボルとして捉えられ、入学式、卒業式などの行事には女子学生が袴を身につけることになっています。

「全国女子大学立地ランキング関西No.1」の抜群の立地条件の下、2015年4月にはキャンパスがリニューアルされ、最新鋭の教育施設、設備を備えた理想的な教育環境で学ぶことができます。

また、少人数を生かした、きめ細やかな学習指導とサポート体制が特徴です。留学生が少ないので、日本人学生との交流も活発です。



(2016年5月1日現在)

教員数 : 95 名  
学生数 : 2,364 名

### ② 国際交流の実績

本学は4カ国6大学と大学間協定を結んでいます。これまでは、短期プログラムを中心に留学生を受け入れてきました。日本語研修、多彩な日本文化研修の他、奈良や京都の文化遺産を見学するプログラムも提供しています。2012年度より日本語日本文化研修留学生（日研生）を受け入れていました。また、2014年から春には、カリフォルニア州立大学フレズノ校より学生を受け入れ、日研生、本学学生と一緒に交流活動を行っています。

### ③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2016年：留学生数	15人	日本語・日本文化研修留学生	0人
2015年：留学生数	11人	日本語・日本文化研修留学生	0人
2014年：留学生数	11人	日本語・日本文化研修留学生	2人

### ④ 地域の特徴

本学の開学の地である小阪は大阪府東大阪市にあり、東大阪市には本学を含めて5つの大学・短大があります。東大阪市は、大阪市の東に隣接し、関西エリアの文化と経済の中心都市である大阪、奈良、京都、神戸にアクセスの良い中核都市です。大阪の中心地である難波や梅田へも電車で30分以内と便利です。歴史と観光の地で有名な京都、奈良へも電車で1時間足らずで行くことができます。世界品質を誇る中小のメーカーが密集する日本のものづくりの拠点でもあります。

## ■コースの概要

### ① 研修目的

日本語能力の向上のための研修を主とし、日本事情・日本文化に関する研修を補助的に行なうもの。

### ② コースの特色

1) コースは、日研生用の日本語と日本事情の科目と、日本人学生と共通の多彩な選択科目から構成されています。

2) 共通科目は、日本の「生活文化に関する科目群」と、日本の伝統文化からサブカルチャーまでの多彩な「日本文化科目群」から構成され、興味に合わせて受講できます。本学の特色となる共通科目を受講する際に、それぞれの分野の専門家に相談することができます。

3) 「生活文化に関する科目群」には、ファッションと化粧文化に関する多彩な授業があり、日本の身装文化をトータルに学ぶことができます。服飾文化だけでなく、化粧文化について理論と実践の両面からアプローチします。化粧学を体系的に学べるのは樟蔭だけです。

4) 「日本文化科目群」には日本の伝統文化に加え、アニメ、漫画などのサブカルチャーを理論と実践の両面から学べる科目が用意されています。

### ③ 受入定員

7名（大使館推薦5名、大学推薦2名）

### ④ 受講希望者の資格、条件等

このコースの受講を希望する学生は、以下の要件を満たしているものとします。

- 1) 女子学生であること。
- 2) 日本語・日本文化に関連する分野を専攻していること。
- 3) 授業を理解するのに十分な日本語能力を有すること。

### ⑤ 達成目標

近代から現在に至るまでの日本の生活文化の特徴について理解を深め、そのテーマに関して日本語で研究発表をし、レポートを書くことができるようになることを目標としています。

### ⑥ 研修期間

2017年9月25日 ~ 2018年9月21日

●修了式は9月を予定（2014年度は9月）

●オリエンテーションは9月25日から開始する。

\* 学生は2017年9月18日～9月22日の間に日本に到着しなければならない。

### ⑦ 研修科目の概要

日研究生用の日本語科目は、日研究生のための専用プログラムですので、学生のレベルに合わせてカスタマイズできます。また選択科目は日本人学生と同じクラスで学びます。

1 科目は15回(30時間)の授業からなります。

1 科目を履修することにより、2単位または1単位が与えられます。



### 1) 必須科目

	秋期	春期
日本語 A,B	30hrs	30hrs
日本語C,D	30hrs	30hrs
日本語・日本文化研究A,B	30hrs	30hrs
日本事情A,B	30hrs	30hrs

◎ 「日本事情 A, B」の概要：日本の近代以降の文化の諸相について、各分野の専門家がオムニバス形式で講義及び実習を行います。樟蔭の開学を含む日本の近現代史、日本料理の調理実習、メイクの実習、日本の大手企業の見学など、多彩な内容です。

### ◇参考：前年度日本事情A

ガイダンス	2hrs
近現代日本の子ども文化 その1～郷土玩具とおまけ～	2hrs
近現代日本の子ども文化 その2～手作りおもちゃ(実習有り)～	2hrs
書写 書道入門 1、2、3、4(実習有り)	6hrs
現代日本の美容と化粧品 1、2(実習有り)	4hrs
日本の子育て事情	2hrs
日本の教育問題	2hrs
近現代の日本の食文化 1、2 料理編(実習有り)	4hrs
近現代の日本の食文化 3 お菓子編(実習有り)	4hrs
まとめ	2hrs

### 2) 見学、地域交流等の参加型科目

さまざまな学外実習に参加できます。寺院、神社、能・狂言・歌舞伎・文楽などの日本の伝統的な文化財や文化施設だけでなく、神戸ファッションミュージアムや京都マンガミュージアムのような施設で日本の現代文化を体験することができます。

### 3) その他の講義、選択科目等 (学部学生と共通の選択科目)

a. 生活文化関連分野の主な科目（各30時間）  
◎「化粧の歴史」(30時間)の概要：日本における化粧の歴史を学びます。化粧の変遷を見ることを通して、社会と人間の関係がわかります。

◎ その他の科目例：「ファッションの歴史」、「服飾文化論」、「美粧と社会」、「被服学概論」、「化粧文化論」、「顔学概論」、「食生活概論」「日本の食と文化」「食の伝統と文化」など

b. 日本文化分野の主な科目(各30時間)

◎「芸術と鑑賞」(30時間)の概要：音楽・美術を中心にして、プロのアーティストを招いて、演奏の披露と、創作活動についての想いを述べてもらう。

◎その他の科目例：「日本文化論」、「現代女性論」、「書写」、「サブカルチャー研究」、「日本の歴史と文化」、「日本語教育学概論」など。  
また日本語教員養成科目も選択できます。

### ⑧ 年間行事（変更の可能性あり）

9月	オリエンテーション
10月	大学祭
11月	秋の宿泊見学旅行
12月	クリスマスパーティー
	ホームステイ体験
1月	学外研修
5月	春の宿泊見学旅行/ フレズノ州立大学 学生との交流パーティー
6月	学外研修
7月	研究発表会
8月	ホームステイ体験
9月	修了式

## ⑨ 指導体制

●学生は、学芸学部に所属します。日本語・日本文化研修プログラムの履修方法等の指導は、日本語教育の専門家がを行います。

●興味のあるテーマに合わせてその分野の専門の教員が研究の助言を行います。

●日本語学習のサポートは日本語教育の専門家が責任を持って行います。日本語能力試験対策の補講も実施しています。(2015年N1に2名中2名合格)

●本学学生によるチューターが日本語学習や日常生活のサポートを行います。また、学内で友人の輪を広げる手伝いもします。学生生活一般については、国際交流室のスタッフがサポートします。

## ⑩ コースの修了要件

本コースは以下の要件を満たした者に修了認定を行います。

1) 日本語・日本文化研修留学生用必修科目については、本プログラムコーディネータと相談の上、必要があればレベルに合った科目を履修していること。

2) 1) と他の共通科目を合わせて20単位以上履修していること。

3) 関心のあるテーマに関して研究発表(公開)を行い、その内容をレポートとして提出していること。



## ■宿 舎

大学が借り上げた民間のアパートに住むことができます。(月30,000円から50,000円程度)

国際交流室で、ホストファミリーを紹介します。夏季休暇やお正月を利用して日本の家庭に短期間滞在することができます。

## ■その他

学内の英語研修施設でアルバイトが可能です。(職務内容: 英会話講師、事前に英語レベルチェックと面接有り、最長10時間/週、資格外活動届けの手続きが必要です。)



## ■修了生へのフォローアップ

日本語・日本文化研修留学生が自国の大学に戻ってからも、日本についての研究を継続してできるよう、プログラム修了後も相談できるような体制を整えています。またFacebookやEメールにより、過去の修了生と自由にコンタクトがとれます。必要に応じて国際交流室といつでもメールを通じてやり取りができるようにしています。



## ■問合せ先

(担当部署)  
大阪樟蔭女子大学国際交流室

住所: 〒577-8550  
大阪府東大阪市菱屋西4-2-26  
TEL: +81-6-6723-8279 (内線3404)  
FAX: +81-6-6723-8348 (大学事務局)  
E-mail: kokusai@osaka-shoin.ac.jp

## 大阪樟蔭女子大学国際交流ホームページ

<http://www.osaka-shoin.ac.jp/univ/international/> (日本語)  
<http://www.osaka-shoin.ac.jp/univ/english/students/index.html> (英語)

## 大阪樟蔭女子大学ホームページ

<http://www.osaka-shoin.ac.jp/univ/> (日本語)  
<http://www.osaka-shoin.ac.jp/univ/english/> (英語)

## 日研生ホームページ

<http://www.osaka-shoin.ac.jp/univ/international/accept/#kokuhiryugaku>

